

認定特定非営利活動法人 青少年の自立を支える会 【栃木県推薦】（栃木県宇都宮市）

<https://www.jiritsu.org/>

代表者名：星 俊彦 団体構成員数：15名

青少年の自立を支える会は、児童養護施設を退所し、行き場を失った子供たちが安心して過ごせる場所として、平成9年に全国では19番目の自立援助ホームとして宇都宮市に「星の家」を開設し、その後もファミリーホーム「はなの家」、子どもの居場所「月の家」を開設して、頼ることのできる大人のいない子供たちの居場所となり、昼夜を問わず、生活全般に亘り、支援を行っている団体です。平成29年には発足から20周年を迎えました。

「星の家」、「月の家」の運営に当たっては、多くの地域のボランティアが参加しており、調理、学習支援等様々な形での協力を得ています。入所児童に対するこうした受容的なかわりは退所児童に対する支援の必要性の高まりと相まって、全国的に知られるようになっていきます。

また、同会が開催するチャリティーコンサートや「星の家まつり」は、恒例の地域のイベントとして定着しています。「星の家」、「はなの家」、「月の家」等の活動状況のホームページ掲載、会報誌等の作成・配布を行うなど、社会的養護の必要性を広く知ってもらうための広報活動にも取り組んでいます。



子どもの居場所「月の家」の様子



チャリティーコンサートの様子



ホームページ

■選考委員のコメント

児童養護施設を退所し、行き場を失った児童の受け入れという社会的に意義のある取り組みを継続して行ってこられました。平日、週末、夜間を問わず、同会が子供たちの心の灯となり健全な育成を支えてきていることや保護者支援も実施しており、同会の取組は他地域のロールモデルとなることが期待できます。

[受賞者からのひと言]

内閣総理大臣賞、本当にありがとうございます。設立から20年の節目にこのような荣誉に浴し、20年間の活動が公に評価されたことを支援して下さった多くの方々との喜びを分かち合っています。

本会は、「制度の狭間」にいる子供たちに必要な支援を届けようと、自立援

助ホームを設立したことが活動の始まりです。私たちは、児童家庭福祉がいかに充実しようとも「制度の狭間」は必ずあるもので、そこに光を当てていくことが非営利活動の本来の姿であると心得ています。この姿勢を今後も大切にして活動を継続していきたいと思います。



表彰状の授与